

「子育て支援」、「物価対策」、「防衛力強化」、政策課題を着実に前へ！

国内経済担当の総理補佐官として、子育て支援の抜本拡充の第一歩となる出産一時金の増額（42万円から50万円）を実現しました。今年4月には、子どもに関する施策を一元的に進める「こども家庭庁」が創設されます。0～2歳児支援の拡充、児童手当の拡充と所得制限の撤廃、学童保育制度の充実など、抜本的に子育て支援の拡充を進め、この国最大の危機である少子化に臨みます。

また、ロシアのウクライナ侵略に端を発した物価高騰への対策として、事業規模 72 兆円の経済対策をとりまとめました。特に、電力・ガス・ガソリンといったエネルギー価格の高騰を抑えるなど、物価高騰の家計への影響をできるだけ和らげるものとなっております。その上で、「資産所得倍増計画」や「スタートアップ育成5カ年計画」

の策定・執行など、我が国経済の成長力を高め、家計の可処分所得を増やすための施策を総合的に進めています。

そして、現下の安全保障環境の悪化を踏まえて、防衛力の抜本強化を進めることも決めました。日米同盟を基軸としつつ、我が国自身の抑止力も高めることで、我が国の平和と安全を守りぬきます。



▲ 若者世代と意見交換する様子

注目 「使って頂くとお得な」 施策の紹介

マイナンバーカード普及促進・物価高騰対策など、「使うとお得な」施策をいくつか紹介します。まだご利用でない皆様は、是非ご検討ください。ご利用方法などご不明点があれば、お気軽に村井英樹事務所（TEL: 048-711-3241）までご連絡ください。

マイナポイント（最大2万円） デジタル社会のパスポートとも言われるマイナンバーカード。既に約 8000 万人の方に申請頂いていますが、その「取得」・「健康保険証としての利用申込」・「公金受け取り口座登録」などで、2万円分のマイナポイントが貰えます。（2023年2月末申請締め切り）

携帯電話料金値下げ 我々の生活に欠かせない携帯電話。その一方で利用料金が家計圧迫の一因にもなっています。政府の施策に伴い、2021年2月から携帯電話各社が、従来に比べて低廉な新しい料金プランを提供しています。「月数千円節約できた」との声も多数頂いております。

NISA（少額投資非課税制度） NISAは、運用益が非課税となる投資初心者にお薦めの仕組みで、既に約 1100 万人の方が利用しています。岸田政権では、資産所得倍増プランの中で、NISAの恒久化と年間投資枠を360万円へ拡大する方針を固めました。

村井ひできミニプロフィール

昭和55年さいたま市生まれ。
浦和区在住。42歳。
家族：妻、長男（7歳）
二男（5歳）三男（3歳）。
浦和市立別所小学校卒業。

東京大学卒業後、財務省入省。
ハーバード大学大学院修了。
平成23年財務省退官（主税局参事官補佐）。
平成24年12月初当選。現在4期。
令和3年10月内閣総理大臣補佐官。
（自民党政権歴代最年少）



LINE公式アカウントでも情報発信をしています。皆さんぜひ友だち登録をお願いします！

内閣総理大臣補佐官 衆議院議員 埼玉1区（浦和区・緑区・見沼区） 村井ひでき 第36号

http://www.muraihideki.com/
TEL 048-711-3241
FAX 048-711-3242

通信 CHALLENGE
日本の新しい力



明けましておめでとうございます！令和5年がスタートしました。

岸田政権発足から、1年3か月。私、村井英樹も、昨年8月の内閣改造で、総理大臣補佐官に留任。引き続き、首相官邸での職務に日々まい進しております。

本号では、村井英樹の昨年下半年の活動報告を行います。また、中面では、小倉将信少子化担当大臣との対談「子育て支援の抜本拡充に向けて」を掲載させていただきます。

総理補佐官として、政権の危機管理に全力！

総理補佐官として、村井の担務は、「国内経済・その他特命事項」。実は、この「その他特命事項」は、総理からの指示があれば何でも担当するという意味で、昨年下半年は、危機管理を含めて政権の重要課題を幅広く担当しました。

初めて経験することも多く、試行錯誤の連続でしたが、政権の危機管理にあたっての初期対応の重要性など、大切なことを身をもって学びました。総理官邸での仕事は、日々決断の連続。綺麗事だけで済まされる世界でもありませんが、大局観・国益・国民目線を忘れずに、目の前の課題に取り組みます。写真は、岸田総理と



休日夜に打ち合わせする様子。どんな批判にさらされても、「批判されない総理大臣はいない。やるべきことをしっかりやるだけ。」そう言いながら休まず働く岸田総理を支えます。

エマニュエル米国大使を、さいたま市に招待しました！

エマニュエル米国大使とは、総理補佐官就任以来大変親しく情報交換・意見交換させて頂いています。そうした中、11月26日、エマニュエル大使のさいたま訪問が実現。大使の希望で、浦和幼稚園の園児たちと餅つきに挑戦頂きました。また、さいたま市立浦和高校では、高校生と英語でディスカッションを行いました。非常に高い英語力で質問をぶつける高校生たちに、エマニュエル大使も真正面から向き合っており、予定時間を大幅にオーバーするほどの大盛況となりました。日米同盟の基盤は人と人とのつながりです。次世代を担う人材を含め、草の根交流を進めます。



浦和幼稚園の園児たちがプレゼントしたポスターは、現在、米国大使のオフィスで、オバマ大統領・岸田総理との写真と並んで飾られています。